急に秋らしく…
18号
2001 Sep.

NOPPO FUN
Monthly News

発行所
Noppo
編集・監修
のっぽ公報班

自然災害

台風キャンプ

8月の終わりに、のっぽスタッフとお客さんで福島の方にフィールドテストを兼ねてキャンプに行ってきました。行く前から台風１１号が接近していたので心配していたのですが、みなさんも御存知の通り、日本列島直撃！あえなく一時テントをたたんで撤収し、仲良くしている民宿で合宿のように楽しみながら台風をやりすごし、再び設営してキャンプを再開しました。

人間は台風などの自然災害には余りにも無力ですね。

そこで今回は台風などの自然災害の種類などを調べてみました。

自然災害

自然災害と一言で言ってもさまざまな種類があります。

地震・噴火・台風や大雨による水害（浸水、冠水、堤防決壊、洪水、土砂崩れ、土石流など）・異常気象など。

地震・噴火などは防ぎようがないのでテレビやラジオの注意報・警報などにより、必要があれば非難するしかない。関東大震災では死者・行方不明者が約１４万２千人。阪神淡路大震災では死者・行方不明者約６４００人。先日の台風１１号でも死者６人。突然の自然災害には人間はなんともろい。

近年の自然災害

しかし最近では自然災害の形態が変わってきているといわれてきている。昔では考えられない災害が増えています。

■都市部の地下

平成１１年、福岡、東京で地下室での水死事故が相次ぐなど、近年、都市部の地下空間が水害に見舞われるケースが増加している。

■無計画な土地利用

かつては居住には不向きとされていた土地でさえ、宅地造成や開発が進み、次々と住宅が建つようになった。土砂災害の恐れのある山すそ、ふだんから雨水が溜まりやすい湿地や低地、氾濫の恐れのある地域などに立つ建物も今や決して珍しくない。

■予想外の現象

１時間の雨量が１００㎜を越す猛烈な雨がしばしば観測されるようになった。その原因として、

温暖化と災害

地球温暖化による気温上昇が挙げられているが定かではない。

以前新聞でも取り上げてた「温暖化」により温度が上がると海面が上昇して空気中の水蒸気の量が多くなる。したがって海の水が蒸発して雲になり、その雲が雨を降らせるという水循環が活発になる。水蒸気は二酸化炭素以上の温室効果を持つため、温暖化を増幅する働きがある。水循環が活発になると、もともと降雨量の多い地域ではさらに雨量が増し、逆に乾燥地域ではさらに乾燥が激しくなる。また、場所によっては降雨量が多い地域でも乾燥化が進むというように、気候が大きく変化する。

編集後記

痛感したことは「自然には勝てない」ってこと。「自然保護」とか「環境保護」とか偉そうに言っているけど、所詮人間は地球に住まわしてもらっているだけ。だから「自然保護」ではなく「自然との共存」を考えていくべきですよね。

ダッチオーブン＆炭火でのビビンバ

テントサイト

キャンプで使った道具の紹介や料理のレシピはホームページで紹介していきます。お楽しみに。

PRIVATE